

このたびは、表紙に息子の作品「ひまわり」が掲載されることになり、大変嬉しく思います。ありがとうございます。息子は花の絵が大好きです。私が買ってきた大輪のひまわりに、「にこにこ笑っているみたい。ひまわりさん、こんにちは」と挨拶をしました。そして、一気に画用紙に直接サインペンで形を描き、色鉛筆で2時間ぐらい集中して仕上げました。「たくさんの種や花びらの折り返ったところや葉っぱの色を工夫したよ」と嬉しそうでした。出来上がった「ひまわり」も笑っているようです。今回表紙に採用していただいたことを大きな励みに、これからも大好きな絵画教室で、いろいろな花の絵を楽しく描いてほしいと願っています。(母)



今月の作品

本コーナーでは、表紙にご応募いただいた作品の中から毎月1点をご紹介します。



船平廣子「紫陽花とかたつむり」

タワシが生き生きするように並べました。

(船平廣子)

作者は子育てが一段落したところに連続飲酒状態となり入院。何度かの入院の後、現在は断酒しデイケアに通所しています。

デイケア開始時、「何もできへんわ」と座って過ごす日が続く中、雑談の中でふと「一度はアクリルタワシをつくってみたい」と語りました。これをきっかけにタワシづくりに挑戦し、今では冗談を言いながら編めるまでになりました。

今回は「タワシが花にも見えるやん」との一言から、普段つくっているタワシを組み合わせで夏の一場面を表現しました。

(担当 OT：林 直樹)